

## 18. 術中迅速病理組織診断件数

### 項目の解説

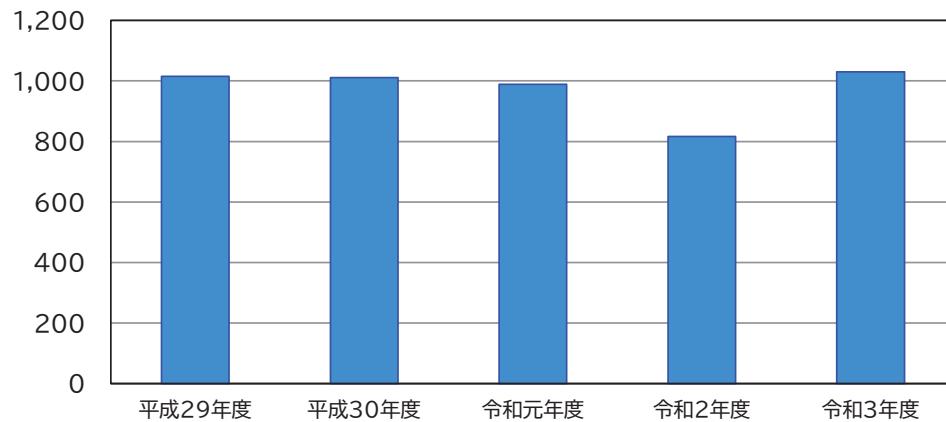
正確で迅速な病理診断は、時として手術中に必要となることがあります。それに基づいて病巣切除の適否または切除範囲が決められます。そのためには、限られた時間内に切除された標本を処理し、迅速かつ正確な診断のできる熟練病理医と設備が病院内に必要になります。件数が増加するほどこれらの機能が充実していることを表しています。

当院では、非常に多数例の術中迅速診断が行われ、適切な外科手術に貢献しています。

### 当院の実績

九州大学病院				
平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1,015	1,011	989	817	1,030

(単位：件)



### 定義

医科診療報酬点数表における、「N003術中迅速病理組織標本作製(T-M/OP)、N003-2術中迅速細胞診」の算定件数です。